



笑顔を運ぶ小さなパートナー 未来の車で訪問介護



訪問介護を利用し、家事などの生活支援を受けている石川さん(右)。ヘルパーの小瀬村さんと庭先で話が弾む



跳ね上げ式のドアで狭い場所でも乗降可能



計器類はシンプルで操作しやすい



車幅が狭いので移動もスムーズ



プロジェクト締結式に臨む小林市長(右)と日産の浅見常務執行役員

愛らしい姿の小さな自動車が、音もなく小道を進みます。「こゝん」には、寒いけど体調はいかがですか?。車を降りたのは、介護施設「玉川グリーンホーム」職員の小瀬村正恵さん(43・小野)。訪問介護サービスを受ける石川金作さん(89・小野)に優しく話しかけます。

訪問介護や訪問相談の足として、日産自動車株式会社の超小型モビリティ(※)を利用する実証実験が市内で始まりました。この取り組みは、市と日産自動車協働で進める「厚木市・日産自動車グリーンモビリティ・プロジェクト」の一環です。新たな活用方法や課題を見だし、市民サービスの向上や次世代自動車の開発に役立てようという試みです。

施設の訪問事業は1日30件ほど。細い路地を走ることが多く、緊急時には深夜に訪問することもあります。「小回りが利いて音も静か。夜間でも近隣に迷惑を掛けない」と、小瀬村さんは笑顔で話します。

市内で進む、交通・環境先進都市を目指した特色ある取り組み。未来を見据えたプロジェクトの中身を紹介します。《4・5面に続く》

問産業振興課 ☎225局2830

※1〜2人乗りの超小型電気自動車。エネルギー消費量は、通常の自動車に比べて6分の1程度。

目次	2面 七沢フレンズに参加しませんか 七沢自然体験教室などをサポートする「七沢フレンズ」を紹介。新年度に向け、新たなメンバーを募集します。	3面 農業体験農園がオープン 農家から指導を受けながら本格的な農業を体験できる農園「飯山楽菜園」が4月に開園。利用者を募ります。	4・5面 人と環境に優しいまちを 次世代自動車を活用した「厚木市・日産自動車グリーンモビリティ・プロジェクト」を紹介します。	6・7面 タウンガイド 催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。
----	---	---	---	---

こちらから

トピック 青少年活動

自然と触れ合い、ボランティア活動を体験

七沢フレンズに参加しませんか

七沢フレンズは、七沢自然ふれあいセンターの体験教室などをサポートする中高生のボランティア団体です。小学生に工作やスポーツ、炊事などを優しく手ほどきします。ボランティア活動を通して、青少年期の成長につなげてみませんか。

「リボンはこうやって結ぶとかわいくなるよ」。七沢自然ふれあいセンターが実施する「子ども自然体験教室」で、中高生が小学生にリース作りのコツを教えています。作業を手伝うのは、市内の中高生で結成する「七沢フレンズ」の皆さんです。



リースを作る坂本さん（右）とサポートする油井さん



野外炊事では七沢フレンズが火おこしを教える

が在籍し、魅力ある活動をしています。

自然体験をサポート

小学校高学年を対象にした子ども自然体験教室には、毎回約50人が参加しています。参加者はハイキングやロッククライミング、カヌー体験、キャンプファイア、野外炊事などで自然の素晴らしさを学び、友情を育みます。七沢フレンズは参加者に活動のアドバイスをしたり、手助けをしたりとサポート

ターとしての役割を担います。

七沢フレンズの油井芽華さん（中2・旭町）は、参加者だった時に七沢フレンズに憧れていました。メンバーになった今は「参加者に喜んでもらいたいという思いで活動しています。学校とは違う経験ができて楽しい」とやりがいを話します。油井さんからは「リース作りを教わっていた坂本真楓さん（小4・恩名）は「難しいところもあったけど、優しく教えてもらったのでうまくできた」と笑顔で話します。

活動を通じて成長

「七沢フレンズに入ってから、精神的に成長できました」。そう話すのは、6年間活動をしてきた関幸花さん（高3・妻田）。「人前で話すことに慣れ、自分の意見をしっかりと持ち出すようになりました」と充実した表情を見せます。メンバーは火おこしや炊事などの知識・技術を身に付けるだけでなく、指導する立場に立つことで気遣いや礼儀などのマナーも学んでいます。

新たな仲間を募集

市では、5月からの活動に参加する七沢フレンズを募集しています（下欄参照）。事前研修を実施するので、経験がなくても心配ありません。活動は

ひとまち元気



厚木市長 小林 幸良

市政運営のテーマは「情熱」

平成26年の市政運営のテーマは「情熱」です。私は一昨年、市民の皆さんの生命と財産、幸せを守るために原点に立ち返り、

今まで構築してきた全ての政策を検証するとともに、徹底した行政改革に取り組みできました。昨年は、素晴らしい厚木市を次代へと引き継いでいくため、市民の皆さんと行政が手を携えた総力で未来への礎を築いてきました。

そして、ことしは「情熱」です。「元気なあつぎ」実現の原動力は、まさに市民の皆さんの熱い思いです。テーマには、燃えたる情熱を乗せた市民の皆さんと力を合わせ、さらに前進していきたいという決意を込めています。

ことしは「アミューあつぎ」のオープン、産業集積に向けた森の里東地区の土地画整理事業の着手など、これまで検討を進めてきた事業が目に見える成果として表れます。大好きな厚木市を県央の雄都としてさらに輝かせるため、全身全霊をささげて元気なまちづくりに取り組みんでいきます。

七沢フレンズを募集

【内容】 自然体験教室などの事業補助事前研修（宿泊あり）
【対象】 平成26年度に中高生の方30人
【申し込み】 直接、電話またはハガキ、ファクスにて住所、氏名（ふりがな）、年齢、生年月日、電話番号、学校名、学年、保護者氏名を書き、4月30日（必着）までに〒243-0121七沢2440七沢自然ふれあいセンター ☎248局4708へ。申し込み順。 ☎330026

年に15回程度です。「子どもや自然が好き」「ボランティア活動に参加してみたい」。そんな中高生の応募をお待ちしています。☎七沢自然ふれあいセンター ☎248局3500

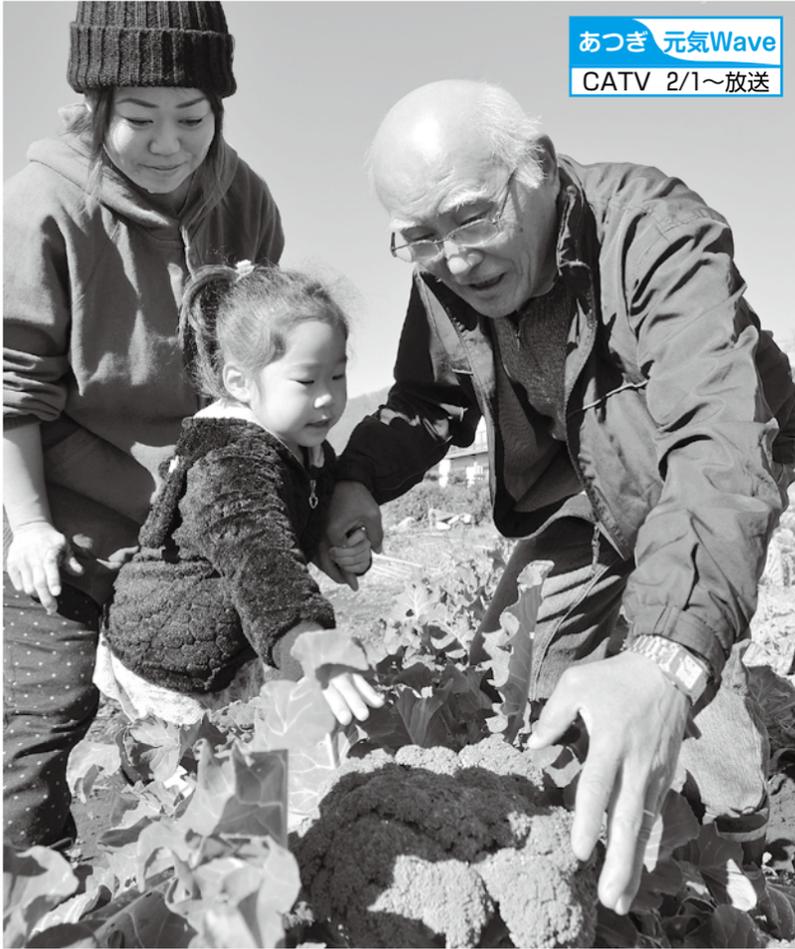
第3回子ども自然体験教室

野外炊事や自然観察などを楽しむ自然体験教室の参加者を募集します。自然の恵みを満喫できる、さまざまな催しを体験してみませんか。



【日時】 3月26日～28日（2泊3日） 10時～15時 ☎130700
【会場】 七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）
【内容】 テント泊、自然観察、野外炊事（パン作りなど）の体験
【対象・参加費】 市内在住在学の小学4～6年生50人（グループでの申し込みは不可）。3000円。
【申し込み】 3月2日までに七沢自然ふれあいセンターへ。抽選。

☎七沢自然ふれあいセンター ☎248局3500



あつぎ 元気Wave
CATV 2/1~放送

志村さん（右）の指導の下、子どもから大人まで農作業を楽しむ



大山を望む自然豊かな体験農園

初心者でも安心！市内初の農家の指導が受けられる農園
飯山楽菜園 利用者募集

【所在地】 飯山3548
 【募集区画】 30区画 (1区画 約30㎡)
 【年間料金】 3万5000円
 (種苗、農機具、指導などの料金を含む)
 【利用期間】 4月1日～平成27年1月31日

☎電話またはファクスに〒住所、氏名、電話番号を書き、2月20日までに飯山楽菜園管理組合・志村☎FAX241局1946へ。抽選。

マイペースに野菜作りを楽しみたい人にピッタリ！
厚木市市民農園 利用者募集

市が開設している区画貸し出し型の市民農園です。苗や水、農機具などはご自身で用意していただきますが、自由に野菜作りができます。農作業を通して、土や自然に触れてみませんか。

農園名	所在地	募集数	1区画面積	年間料金
荻野ファミリー農園	上荻野1227ほか	18区画	20㎡	4800円
中荻野ファミリー農園	中荻野1681-1ほか	2区画	30㎡	6600円
		1区画	60㎡	1万3200円
小鮎ファミリー農園	飯山2249-1ほか	5区画	20㎡	4800円
三田ファミリー農園	三田521-1ほか	2区画	20㎡	4800円
		6区画	30㎡	6600円
飯山ファミリー農園	飯山3005-2ほか	3区画	20㎡	4800円
下川入ファミリー農園	下川入1286-4ほか	4区画	30㎡	6050円

【利用期間】 4月1日～平成28年2月29日
 ※下川入ファミリー農園は平成27年2月28日まで
 【対象】 市内在住在勤在学の方 (1世帯1区画)

☎ハガキ、ファクスに〒住所、氏名、電話番号、農園名、面積を書き、2月20日(必着)までに〒243-8511農業振興課☎225局2800・☎223局0174へ。抽選。

トピック

農家の指導で新鮮野菜を作ろう 農業体験農園がオープン

本格的な農業を手軽に体験できる新たな形の農園「飯山楽菜園」が4月に開園します。農園では、種まきから収穫までのノウハウを現役の農家から学べます。豊かな自然に囲まれた農園を、ぜひご利用ください。

農業

手ぶらで農作業を体験

農業体験農園は、農家から直接指導を受けながら農業を学べる新しいタイプの農園です。昨年4月に小鮎地区の農家が飯山楽菜園管理組合(白井スミ子組合長・組合員数5人)を設立。試験的にオープンさせた体験農園は利用者に好評を博し、ことし4月から本格的にスタートします。

農園利用者は1区画約30平方メートルの農地で作業します。季節に合わせてナスやトマト、枝豆、サトイモなど年間20種類以上の農作物を栽培。区画貸しの農園とは違い、種や苗、農機具、堆肥などを農家が用意してくれるので、手軽に農作業を体験できます。

作付けの時期には、栽培方法の講習会を実施。農家の丁寧な指導の下、種まきや苗の植え付けから手入れ、収穫までを学べます。栽培する農作物を自由に選べるわけはありませんが、初心者でも1年を通して本格的な野菜作りを楽しめます。

広がる地域のコミュニティ

農園では、料理研究家を招いた料理教室や収穫祭などのイベントも開催しています。収穫祭では、採れたての農作物を使った焼きそばや豚汁作り、バーベキューなどを満喫。子どもから大人まで、自らの手で栽培した野菜を仲良く味わっています。

農地の提供と指導に努める志村昂二さん(69・飯山)は「みんなで和気あいあいと野菜作りができています。地域に密着した活動として、コミュニティづくりにも大きな役割を果たせている」と試験的オープンの成果に手応えを感じています。

「農家による体験型の農園は市内で

農業をより身近に

農業体験農園は、市民の皆さんが農業に触れ合う新しい形の農園です。地産地消への理解を深める場や子どもの食育の場となるほか、農地の有効活用、農業収益の確保などさまざまな効果が期待されています。

市では、農家が自ら運営する農業体験農園の開設を支援しています。市内に7カ所385区画ある「厚木市市民農園(左欄参照)」と合わせ、市民の皆さんが気軽に農業に触れられる環境づくりを進めていきます。

☎農業振興課☎225局2800

JAあつぎ 市民農園 利用者募集

JAあつぎが開設している区画貸し出し型の市民農園です。

農園名	所在地	募集数	1区画面積	年間料金	利用期間
A 山際農園	山際548-1	7区画	16.5㎡	5000円	3月～12月
B 三田農園	三田1512	9区画	16.5㎡	5000円	
C 三田農園	三田1535	8区画	16.5㎡	5000円	
D 小野農園	小野331-1ほか	5区画	16.5㎡	5000円	
H 飯山農園	飯山843ほか	4区画	33㎡	8000円	

☎JAあつぎ本所・支所(店)にある申込書に必要事項を書き、直接または郵送で、2月10日～14日(消印有効)に〒243-0004水引2-10-38JAあつぎ地域農業対策課☎221局2273へ。抽選。



あつぎ 元気Wave
CATV 2/1~放送

戸田小学校で開催された「わくわくエコスクール」。電気をためて走る模型作りに子どもたちの夢が膨らむ

人と環境に優しいまちを

昨年11月1日、市と日産自動車は「厚木市・日産自動車グリーンモビリティ・プロジェクト」を推進する協定を結びました。電気自動車などの次世代自動車の開発や普及、交通環境の改善、小中学校での教育支援などを通じて、人と環境に優しく暮らしやすいまちづくりを進めていきます。



未来を担う自動車

現在、世界各国が二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスの削減を進めています。国内では、CO₂排出量の2割近くを自動車占めています。さらにその半分が、自家用車からの排出です。自動車の省エネは、温室効果ガスの削減に大きな役割を果たします。こうした中、次世代自動車は省エネ効果や安全性に優れ、未来の乗り物として期待されています。環境面だけでなく、より便利な乗り物になるよう開発が進められています。運転能力が低下した高齢者を支援する自動運転システムなど、少子高齢化社会を見据えた自動車は今後の私たちの生活にも深く関わってきます。

厚木市・日産自動車 グリーンモビリティ・プロジェクト

プロジェクトは、5つの大きな柱を連携内容としています。詳細は両者で協議しながら決定し、進めていきます。

充電インフラの整備促進

電気自動車利用者の利便性向上を目的とした、充電器の設置



電気自動車活用モデル事業

地域内移動、福祉、災害対応、市民交流などでの活用モデルの構築

自動車先進技術の活用

市民の皆さんの利便性向上を目指した、自動車先進技術の活用検討

交通流改善の将来構想検討

市内の渋滞改善を目的とした、交通流改善シミュレーションの検討

小中学校の環境教育支援

環境などの教育を目的とした、体験型授業の実施



順番で電気自動車に試乗する児童たち

ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬 スタンプラリー

【期間】 1月15日～3月16日
【内容】 各市町村の観光案内所やスタンプポイントで台紙を手に入れ、指定された観光地を巡ってスタンプを集めると、先着1000人に「ご当地キャラクター手拭い」をプレゼント。さらに、抽選で150人に名産品や宿泊券などが当たります。
【電気自動車(リーフ)の貸し出し】 土・日曜、祝日に実施。料金は1785円(12時間以内)。予約は2日前までに市観光協会☎228局1131へ。申し込み順。
※スタンプラリーは自家用車での参加も可能です。

図観光振興課☎225局2820



電気自動車で身近な観光地に遊びに行こう

「理科好き」を増やす授業

「わあ、動いた」。電気で作るミニカーを手に入れた子どもたちが歓声を上げています。戸田小学校で開催された「わくわくエコスクール」で、子どもたちが電気で作ったミニカーを動かす授業を行いました。授業では、電池の仕組みや電気の伝わり方などについて学びました。子どもたちは、理科が身近なものになり、学ぶのが楽しくなりました。

観光の振興にも活用

1月15日から「ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬スタンプラリー」が始まりました。厚木市と秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村が連携して取り組んでいる事業です。ここでは、プロジェクトの柱の一つ「電気自動車活用モデル事業」が展開されています。丹沢、大山、宮ヶ瀬という自然豊かな観光地を巡るスタンプラリーに、排気ガスや騒音を出さない電気自動車を活用。近郊の魅力ある観光地を知ってもらうとともに、電気自動車の環境性能や静粛性を際立たせるという試みです。限られた地域の中を電気自動車移動し、電池の残量が少なくなれば観光している間に充電する。そんな新しい観光スタイルが、環境に優しいまちをつくりたい。

新たなまちづくり

協定による取り組みは、今後さまざまな分野に広がっていきます。今回紹介した事業以外にも、交通渋滞を緩和するための方法など行政、市民、民間事業者が力を合わせてアイデアを出し合いながら、先進的な試みが実施される予定です。人と環境に優しいまちを目指し、新しいまちづくりの可能性を追求する挑戦が続きます。プロジェクトの動向に、ご注目ください。

図産業振興課☎225局2830

「厚木から世界中で利用される電気自動車を」

日産自動車 EVシステム開発部
鈴木草平さん(28)



現在は日産リーフを活用した「LEAF to Home」のシステム開発に携わっています。LEAF to Homeとは、リーフの電力を利用して家の明かりをつけたりお湯を沸かしたりするものです。夜間に車に蓄電した電力を昼間使うので、ピーク時の電力使用を避けることができ、社会に貢献できます。大変な仕事ですが、難しいシステムの問題を解決したときなど、とてもやりがいを感じます。要望も多いですがニーズに応えられるよう、モチベーションを高く持って仕事に取り組んでいます。電気自動車の敷居はまだ高く、走行距離に不安を持っている方も少なくありません。不安要素がなくなるよう努め、誰もが憧れる車にしていきたいと思っています。厚木を軸にいろいろな国や人のニーズに合わせていき、世界中で運転される電気自動車を作りたい、そんな夢を抱いています。



消防出初め式でも披露された超小型モビリティ

会議(年2回程度)に出席できる
③他の附属機関などの委員でない
④市の議員・職員でない一の全てを満了する方1人《任期》4月1日～(2年間)《報酬》1日7800円(交通費含む)。**■**まちづくり指導課にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項と応募動機(400字程度)を書き、直接または郵送、Eメールで3月5日(消印有効)までに〒243-8511まちづくり指導課☎225局2421・e-mail=5900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

青少年教育相談センター運営協議会委員を募集

《対象》①市内在住で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年2回程度)に出席できる③他の附属機関などの委員でない④市の議員・職員でない一の全てを満了する方2人《任期》6月1日～(2年間)《報酬》1日7800円(交通費含む)。**■**青少年教育相談センターや公民館にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項と応募動機(400字程度)を書き、直接または郵送、ファクスで2月21日(必着)までに〒243-8511青少年教育相談センター☎225局2520・FAX223局9525へ。後日面談あり。☎公募310031

市立病院運営審議会委員を募集

《対象》①市内在住で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる③他の附属機関などの委員でない④市の議員・職員でない一の全てを満了する方3人《任期》4月1日～(2年間)《報酬》1日7800円(交通費含む)。**■**市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)に必要事項と市立病院の在り方に関する意見(1200字以内)を書き、3月3日までに直接、経営管理課☎221局1570へ。

療育相談と発達支援事業の非常勤職員募集

《職種・人数》①臨床心理士=2人②言語聴覚士=若干名③理学療法士④保育士⑤看護師⑥音楽療法

士=各1人《内容》検査や相談、指導など《勤務日時》①週1日または3日、9時～17時②週1～3日、9時～17時③月3日、9時～17時④週2日、9時～17時⑤月～金曜、9時～14時45分⑥月・水曜、9時～17時(各月1回)《勤務場所》総合福祉センター《報酬》1日2万3000円(④は1時間1090円、⑤は1時間1700円)。**■**市販の履歴書に写真を貼り、直接または郵送で2月21日(必着)までに〒243-0018中町1-4-1福祉総務課☎225局2245へ。報酬額などは変更になる場合があります。

児童クラブ指導員(非常勤職員)募集

《対象》健康で児童の健全育成に熱意のある18歳～64歳の方若干名《勤務先》市内児童クラブ(学童保育)《内容》入所児童の生活指導、遊びの見守りなど《雇用期間》4月1日～(1年間)《勤務日時》平日=放課後～18時30分。土曜・長期休業日=8時30分～18時30分。週3～4日の交代勤務(勤務時間の調整可)《報酬》時給940円(所定時間外は1175円、土曜は1269円)。**■**市販の履歴書に写真を貼り、直接または郵送で2月13日(必着)までに〒243-0018中町1-4-1総合福祉センター5階こども育成課☎225局2582へ。後日面接あり。

環境みどり公社臨時職員募集

《対象》18歳～64歳の方若干名《期間》4月1日～(1年間)《内容》施設管理などの業務《給与》時給893円以上《詳細》市役所本庁舎、公民館、環境みどり公社(長谷626-1)にある募集要項を確認してください。**■**市販の履歴書に写真を貼り、2月3日～21日に直接環境みどり公社☎225局2773へ。書類選考、面接あり。

本厚木駅連絡所臨時休業

2月18・19日は、本厚木駅ビルの点検のため証明書発行などの連絡所業務を休業します(観光案内所も休業)。**■**市民課☎225局2110。

国民年金保険料の納付には口座振替を

国民年金保険料の納付は、納め

あつぎ 元気Wave

ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分)

2月の広報番組ガイド

2月1日～15日

◆次世代自動車であつぎを豊かに
次世代自動車を活用した新たな取り組みを紹介します

①12時～②19時30分～③22時45分～ ※内容は変更する場合があります。

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

忘れがない口座振替が便利です。現金納付より割引額が大きい「早割制度」「6カ月・1年前納」もあります。**■**納付書または年金手帳、通帳、金融機関届出印を持ち、直接金融機関や厚木年金事務所☎223局7171へ。4月分以降の前納は、2月末日までに申し込みが必要。

放送大学4月生募集

テレビなどで授業をする放送大学では、平成26年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。出願期間は2月28日まで。**■**放送大学神奈川学習センター☎045・710局1910。

市斎場広告看板の広告主募集

《広告料》1カ月1万5000円以上(価格競争)《申込期間》2月10日～3月9日《掲出期間》5月1日～(1年間)。詳細は市ホームページをご覧ください。**■**斎場☎281局8595。

市有地の売却・貸付

《売却物件(市営住宅団地跡地など)》①戸室4丁目692-1②戸室4丁目741-1③戸田2525-2④妻田東1丁目2324-1ほか1筆《貸付物件》船子262ほか2筆。**■**2月10日～24日に財産管理課☎225局2089へ。

宅地建物取引業協会の相談会

2月8日、10時～16時。宅地建物取引業協会県央支部(水引1-8-22)。専門家による法律や税金、不動産取引の相談。弁護士相談も実施(要予約)。無料。**■**宅地建物取引業協会県央支部☎224局6561。

中小企業活性化推進月間

2月は「神奈川県中小企業活性化推進月間」です。創業・技術・経営・人材育成に関する講習会などを実施します。詳細は県ホーム

ページをご覧ください。**■**県中小企業支援課☎045・210局5558。

みんなの声でつくるまち

《説明会》

■都市計画緑地(愛名・下古沢・上古沢地内)の都市計画変更

2月10日、19時～。小鮎公民館(飯山3526-2)。**■**当日直接会場へ。

■都市計画課☎225局2401。

■ツインシティ大神地区土地区画整理事業

①2月21日、19時～21時②2月22日、14時～16時。平塚市大神公民館《縦覧》2月14日～3月31日。生活環境課、相川公民館。**■**生活環境課☎225局2752。

《意見交換会》

■厚木・清川広域消防運営計画

2月8日、10時～11時。市役所本庁舎。**■**当日直接会場へ。**■**消防総務課☎223局9366。

《パブリックコメント》

■(仮称)あつぎ元気地域エネルギー構想実行計画骨子

《閲覧期間》1月30日～2月28日《閲覧場所》環境総務課、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、市ホームページ《応募資格》市内在住に勤在学の方または市内で活動する個人・法人・団体《応募方法》閲覧場所にある用紙を備え付けの「わたしの提案」箱に投函するか、直接または郵送、ファクス、Eメールで2月28日(消印有効)までに〒243-8511環境総務課☎225局2746・FAX221局0291・e-mail=3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

あつぎ健康相談ダイヤル24

さわやか1番 よいところ
☎0120-31-4156

第40回 厚木市緑のまつり

公園緑地課
☎225局2410

出場団体募集

華やかな「花と緑のステージ」でパフォーマンスしませんか。

《日時》4月19・20日
10時30分～15時

《会場》厚木中央公園

《演目》コーラス、ダンス、演奏など

《出演時間》1団体10分以内

■公園緑地課または公民館にある申込書(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、直接または郵送、ファクス、Eメールで3月14日(必着)までに〒243-8511公園緑地課☎225局3027・e-mail=4800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

出展者募集

日ごろの緑化や環境に関する活動をPRしませんか。

《出展日》4月19・20日 10時～16時

《会場》厚木中央公園

《出展料》無料

《対象》市内の企業や学校など

■2月21日までに公園緑地課へ。抽選。



フォトコンテスト作品募集

市内の花や緑の美しさ、公園での憩いのひととき、自然との触れ合いなどの魅力を写真で表現してみませんか。ご応募をお待ちしています。

《部門》◆自然風景部門 ◆人物風景部門

《賞》グランプリ(各部門1人。賞状、盾、商品券1万円分)

優秀賞(各部門2人。賞状、盾、商品券5千円分)

入賞(各部門3人。賞状)

《対象》①応募者が市内在住に勤在学②平成25年4月1日以降に市内の公園・緑地などで撮影③未発表④デジタル加工していない⑤肖像権などを解決している一の全てを満了する作品

《規格》八つ切り以上にプリントしたもの(各部門1人3点まで)**■**公園緑地課、公民館にある応募用紙(市ホームページからダウンロード可)を作品の裏面に天地同じ方向で貼り、直接または郵送で3月4日(必着)までに〒243-8511公園緑地課へ。※受賞作品と受賞者名は、緑のまつり会場や市ホームページで発表します。

タウンガイド



2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧いただけます。「01」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。

www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

市斎場施設見学会

2月13日、①10時30分～②13時30分～。斎場(下古沢548)。現地集合。「神奈川建築コンクール」優秀賞の施設見学と葬儀の説明。「市民の葬儀プラン」の個別相談もできます。定員各回50人。無料。☎2月1日～12日に斎場 ☎281局8595へ。申し込み順。

子育てアドバイザー講習会

3月5・6日(全2回)、9時15分～17時(6日は13時30分～)。総合福祉センター。市内在住で地域の子育て支援にボランティアとして関わりたい方20人。無料。託児あり(1歳以上10人。要予約。申し込み順)。別に保育所実習(半日)が必要。全課程修了者に認定証を交付。☎2月18日までに子育て支援センター ☎225局2922へ。抽選。☎130673

親子deフィットネスリターンズ

3月1日、10時～11時30分。パートナーセンター。幼児期の運動・成長発達の講話や運動・遊びの実践。市内在住の4歳の子どもと保護者20組。☎2月27日までに健康づくり課 ☎225局2201へ。申し込み順。☎130661

日本赤十字社幼児安全法 支援員養成講習会

3月1・2日(全2回)、9時～17時。総合福祉センター。幼児期の事故や病気の予防法などを学ぶ。市内在住在勤在学の15歳以上で全日程に参加できる方30人。1500円。☎往復ハガキに講習会名、〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号、市外在住の場合は勤務先または学校名を書き、2月13日(必着)までに〒243-8511福祉総務課 ☎225局2200へ。検定合格者には認定証を交付。抽選。☎130639

勤労者福祉サービスセンターの講座

■「自力整体」体験講座
3月5日、19時～21時。整体で骨格のバランスを整える方法を学ぶ。市内在住在勤在学の20歳以上の方15人。参加費2000円。☎130692
■年金セミナー「ゆとりある老後

生活を考える」

3月8日、14時～16時。公的年金制度の仕組みや老後の生活設計を学ぶ。市内在住在勤の20歳以上の方15人。無料。☎130686

いずれも会場は勤労福祉センター。☎電話またはファクスに講座名、〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月15日までに勤労者福祉サービスセンター ☎225局2547・☎227局5405へ。抽選。

オストメイト社会適応訓練 活動の相談会健康教室

2月16日、13時30分～16時30分。イオンモール大和(大和市)。人工肛門・ぼうこう保有者と家族など。グループ懇談、個別相談、補装具展示など。無料。☎日本オストミー協会神奈川支部 ☎0466・45局4216。

市民ふれあいマーケット出店者募集

3月9日、10時～14時(雨天時は16日)。厚木中央公園。家庭で不用になった物の販売。市内在住の方130店舗(高校生以下は不可)。出店料500円。☎往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、日中に連絡が取れる電話番号、販売品目、返信先、自動車の使用の有無(車種とナンバー)を書き、2月14日(消印有効)までに〒243-8511環境総務課 ☎225局2780へ。☎120091

ファミリー・サポート・センター提供会員を募集

《対象》市内在住で子どもの一時的な預かりや保育施設への送迎などができる方。☎こども育成課、公民館などにある申込書に写真2枚を添えて2月26日までに直接ファミリー・サポート・センター(総合福祉センター5階・☎225局2933)へ《講習会》3月5・6日(全2回)、9時15分～17時(6日は13時30分～)。総合福祉センター。託児あり(1歳以上10人。2月18日までに要予約。申し込み順)。育児援助(有料)の希望者も随時募集。☎公募330022

住居表示審議会委員を募集

《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の

あつぎバレンタインキャンドルナイト

■スタンプラリー

2月11日、13時～17時。本厚木駅周辺の菓子店で菓子をプレゼント。大学生以下の方200人。申し込み順。

■キャンドルナイト

2月11日、17時～19時(雨天中止)。空き瓶であゆコロちゃんの形をしたキャンドル空間を演出。アカペラライブや手作りチョコプレゼント、ホットドリンクサービスなどもあります。

いずれも会場は本厚木駅北口広場。☎当日直接会場へ。☎商業にぎわい課 ☎225局2840。

2月のあつぎ青春劇場

1日=唄う!青春劇場カラオケ大会(ゲスト・宮川たかし)。17時～18時。定員100人。入場料500円。22日=あつぎ青春劇場落語会(出演・橋ノ圓滿)。11時～12時30分。定員50人。入場料500円。

いずれも会場はイオン厚木店8階。☎商業にぎわい課 ☎225局2840。

あつぎ周辺の花鳥風月を友にする

2月15日、13時30分～15時30分。郷土資料館。厚木周辺の草花や自然を解説。定員30人。無料。☎当日直接会場へ。☎郷土資料館 ☎225局2515。☎130665

バスで行く環境エコツアー 山の恵みに触れ合おう

2月16日、9時～17時。七沢での森林セラピーや元湯玉川館での食事、入浴、講話。市内在住在勤在学の方40人。2000円(昼食・入浴代)。☎直接、電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、2月7日までに環境総務課 ☎225局2746・☎221局0291へ。抽選。☎130685

タニタの社員食堂健康セミナー

3月15日、10時～11時30分。ヤングコミュニティセンター。タニタ社員食堂の歩みやメニュー作りのコツを講演。40歳未満の国民健康保険加入者100人。☎2月28日までに国保年金課 ☎225局2120へ。抽選。☎130681

第50回 あつぎ飯山桜まつり

ダンスコンテスト参加者募集

厚木市の春を彩る「あつぎ飯山桜まつり」で、ダンスコンテストを開催します。満開の桜の下で、自慢のダンスを披露しませんか。

《ジュニア(中学生以下)の部》3月29日、11時～《一般の部》3月29日、15時～《会場》飯山白山森林公園・桜の広場ステージ《対象》各部2～30人程度のグループ20組(小学生以下の参加には引率者が必要)《内容》ヒップホップ、チアダンス、フラダンス、よさこいなど自由《演技時間》1組5分以内《参加費》1組1000円《賞金》各部優勝3万円、準優勝2万円、3位1万円《事前説明会》3月5日、19時～

☎電話またはハガキ、ファクス、Eメールに部門、チーム名、人数、代表者(引率者)の氏名、年齢、〒住所、電話番号、Eメールアドレス、ダンスの内容を書き、2月21日(必着)までに〒243-8511観光振興課 ☎225局2820・☎223局0174・e-mail = 3850@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

☎観光振興課 ☎225局2820 飯山桜まつり ダンス 検索



さまざまなダンスが会場を盛り上げる

“さくら輿”参加者募集

女性だけの華やかなみこし「さくら輿」を担いでみませんか。担ぎ方などは熟練者が丁寧に教えます。ぜひお気軽にご参加ください。

《日時》4月6日、10時30分～《場所》飯山観音参道～桜まつり会場《対象》高校生以上の女性15人程度《その他》衣装は無料で貸し出します。申し込み時にサイズをお伝えください。参加者には、1人3000円の謝礼をお渡しします。☎3月31日までに市観光協会(本厚木駅観光案内所内)へ。申し込み順。

☎市観光協会 ☎228局1131



満開の桜の下を練り歩く

豊かな創造力と
輝く個性

コンクールの受賞者発表

昨年の夏休みに実施した各種コンクールに、子どもたちの個性あふれる力作が寄せられました。主な入賞作品を紹介します。(敬称略)

和田傳文学賞

大賞
小学校1~3年生の部
「びいこ」今井実々(戸田小1年)
小学校4~6年生の部
「今のおじいちゃんと昔のおじいちゃん」
白井祐人(依知小4年)
中学校の部
「エレベーター」畠山美和子(依知中2年)
図書館教育課☎225局2675

青少年発明コンクール

特賞「キラキラネット」勝又耕平(森の里小1年)
図書館産業振興課☎225局2830

ごみ収集車イメージアップ絵画

市長賞 **教育長賞**
きれいな町 厚木
泉桃華(南毛利小4年) 小林愛望(荻野小5年)
図書館環境事業課☎225局2793

ごみ減量リサイクル標語・ポスター

市長賞
小学生低学年の部
「生ごみは 水をきって ダイエット」
上市萌華(毛利台小2年)
小学生高学年の部
「ぼく達の 行動一つで ごみ減量」
三橋速斗(厚木小5年)
中学生の部
「ごみ出しの ルールを守って 再利用」
久島勇人(藤塚中1年)

小学生低学年の部 小学生高学年の部 中学生の部
へらぞうごみ リサイクルは 美しい地球を 残ります
ふやぞういげん 回せば資源
渥美幸太(毛利台小3年) 田村朋子(厚木第二小6年) 加藤瑳恵(荻野中2年)
図書館環境総務課☎225局2780

社会を明るくする運動作文コンテスト

会長賞「色眼鏡は外して」友田優衣(玉川中3年)
図書館福祉総務課☎225局2200

防火ポスター

特選
小嶋理央(依知南小1年) 細谷桃華(愛甲小2年) 秋田愛絵(毛利台小3年)
消すまでは心の警報 ONのまま
田口若菜(荻野小4年) 村松怜将(鷹尾小5年) 船津遥(戸室小6年)
消したはず そんな思いが大惨事
飯田莉菜(陸合中1年) 細井湧人(小鮎中2年) 井上ほのか(小鮎中3年)
気をつけて 人の命や場所を
図書館予防課☎223局9371

下水道作品コンクール

《書道の部》入賞
守川 破るを 共水 存と 守川 破るを
平山凜帆(毛利台小4年) 大坂彩乃(緑ヶ丘小4年) 松浦克典(小鮎小4年)
図書館下水道総務課☎225局2361

厚木こども科学賞

大賞
小学生の部
「全身の二点閾値を調べる」
小口大海(妻田小5年)
中学生の部
「潮の満ち引き ~ズバリ!! 月との関係性とは!?~」
嵯峨根悠子(南毛利中2年)
図書館学校教育課☎225局2675

文化財保護ポスター

《わたしたちの文化財部門》
優秀賞
市川大暉(藤塚中3年)
図書館文化財保護課☎225局2509

明るい選挙啓発ポスター

金賞
小学校の部 中学校の部
明るい未来 未来を あなたの「で」
小田瞳(南毛利小6年) 石橋真歩(小鮎中3年)
図書館選挙管理委員会☎225局2490

人権ポスター・作文

《ポスター》
会長賞
網広真衣(厚木中3年)
《作文》
市長賞「大きくて尊い命」
丹羽彩華(小鮎中1年)
教育長賞「共に生きる」
安部琴美(藤塚中3年)
図書館人権男女参画課☎225局2215

鮎まつり思い出絵画

最優秀賞
船津遥(戸室小6年)
※入賞作品は、厚木地下道に展示中です。
図書館観光振興課☎225局2820

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー☎045・450局1804へ。